

令和7年8月1日

各 位

選定番号 109
大阪市立南市岡小学校
校長 木村 幹彦

令和7年度 大阪市教育委員会「がんばる先生支援」グループ研究A

文部科学省「生命(いのち)の安全教育普及展開事業」

公開授業研修会・講演会のご案内

思いや考えを豊かに表現し、相互に理解を深め合う児童の育成

～自ら考え、自ら学ぶための国語力と豊かに生きるための実践力を育てる指導～

- (1) 「明るく前向きに他者と関わる力を育てる国語科読解指導の研究」
- (2) 「子どもの『個別最適な学び』と『協働的な学び』に役立つ学校図書館運営の実践」

(3) 心と体を豊かに育む南市岡小学校版「生きる」教育

令和7年度本校では、上記のテーマを掲げ大阪市教育委員会の研究支援事業「がんばる先生支援」の選定を受け研究に取り組んでいます。この度、(3)について下記要領で公開授業研修会・講演会を行いますので多くの方々にご参加いただけますようご案内させていただきます。

記

- 1. 日 時 令和7年9月10日(水) 13時45分～17時00分(受付13時15分～)
- 2. 会 場 大阪市立南市岡小学校 教室・多目的室(大阪市港区南市岡2-6-35)
- 3. 公開授業

学年	授業内容	授業者
1年	「ふれること、ふれられることについて考えよう～プライベートゾーン～」	山下 啓子
2年	「人との距離感って?～パーソナルスペースについて考える～」	福田 裕美
3年	「子どもの権利条約を知ろう～今の自分と向き合う～」	村瀬 功樹
4年	「10歳のハローワーク～ライフストーリーワークの視点から～」	竹田まどか
5年	「SNSについて考えよう～アサーティブ・コミュニケーションの4原則～」	秋山 雄介
6年	「デートDV～愛?支配?～パートナーシップの視点から～」	金本 玲奈

- 4. 実践報告(各学年授業者・主幹学校司書:辻 智恵子)
- 5. パネル・ディスカッション

南市岡小学校版「『生きる』教育」～言葉学びと図書館教育～

- 中林 真理子(大阪市立南市岡小学校教諭 研究部長)
- 木村 幹彦(大阪市立南市岡小学校長)
- 田村 泰宏(元 大阪市立清水丘小学校長)
- 西岡 加名恵(京都大学大学院教育学研究科教授)

6. 講演

公教育における「『生きる』教育」の意義

～次期学習指導要領改訂に向けた議論での「学校の本質的な役割」を踏まえて～

京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵

7. 時 程

13:15 13:45 14:30 14:45 15:15 15:50 16:00 16:40 17:00

受付	公開授業	休憩	授業者・主幹学校司書 実践報告	パネル・ディスカッション	休憩	講演	質疑応答
----	------	----	--------------------	--------------	----	----	------

8. 講師紹介

パネル・ディスカッション

元 大阪市立清水丘小学校 校長 田村 泰宏 (たむら やすひろ)



1978年より大阪市立小学校教員として勤務。初任校で特別活動の実践研究に取り組むうちに、ことばによるコミュニケーションのたいせつさに気づき、以降、主に国語科教育を中心に子どものことば学びに関わる研究活動を続ける。1989年～1991年に兵庫教育大学大学院に内地留学。修士論文の題目は『話しことば教材論』。2015年、大阪市立清水丘小学校での勤務を最後に退職し、以降、甲南大学教職教育センターで教職指導員(2015～2025)、また大阪市立図書館で学校図書館コーディネーターとして(2015～2024)、小学校教員養成や大阪市立小・中学校の学校司書の支

援にあたった。なお、2014年4月より2023年3月まで、生野南小学校、2023年4月～現在まで、本校にて国語科教育・図書館教育の研究指導に携わっている。2025年4月、「NHK クローズアップ現代」で教材分析や指導案作成を指導した1年生の国語の授業が「校内トラブル激減 感情リテラシー育む授業」として紹介される。また、最近の著書に『生野南小学校 教育実践シリーズ第2巻「心を育てる国語科教育」』(共編著、日本標準、2023年)がある。

講演・パネル・ディスカッション

演題 「公教育における『生きる』教育の意義」

～次期学習指導要領改訂に向けた議論での「学校の本質的な役割」を踏まえて～

京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 (にしおか かなえ)



さまざまな学校と連携して、カリキュラムの改善やパフォーマンス評価の活用などに関する共同研究開発に取り組んでいる。日本学術会議第26期会員、日本教育方法学会理事、日本カリキュラム学会理事、教育目標・評価学会代表理事、文部科学省中央教育審議会教育課程部会臨時委員など。

主な著書に、『教科と総合学習のカリキュラム設計』(単著、図書文化、2016年)、『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』(編著、明治図書、2016年)、『グローバル化時代の教育評価改革』(共編著、日本標準、2016年)、『「逆引き設計」実践ガイドブック』(共編著、日本標準、2020年)、『新しい教育評価入門(増補版)』(共編著、有斐閣、2022年)、生野南小学校 教育実践シリーズ第1巻『『生きる』教育』(監修、日本標準、2022年)、第2巻『心を育てる国語科教育』(共編著、日本標準、2023年)、第3巻『子どもたちの「今」を輝かせる学校づくり』(共編著、日本標準、2024年)、第4巻『『生きる』教育 全学習指導案集』(共編著、日本標準、2024年)など。

9. 申し込み方法

- ・二次元コード又は次のリンクから申し込んでください。
<https://forms.office.com/r/lnxr9jpwW9>
- ・定員は100名(申し込み順)になります。
- ・大阪市立学校園以外からの参加も歓迎します。
- ・9月5日(金)までにお申し込みください。
- ・大阪市「中堅教員研修(選択)」を兼ねます。
- ・申し込みの取り消しは、「申し込み取り消し」にチェックして再送信してください。

「『生きる』教育」公開授業・講演会
2025年9月10日 申し込み



「がんばる先生支援」研究支援
研究発表会・公開授業のご案内

令和 7 年 8 月 1 日
選定番号 139
大阪市立中野小学校
校長 牧野美奈子

研究テーマ

「思いを高め合い、互いに役割を果たしながら、
主体的に活動する特別活動」

1 日 時 令和 7 年 9 月 11 日 (木) 13 時 50 分 ~ 17 時 00 分
(受付 13 時 30 分から)

2 会 場 大阪市立中野小学校
〒534-0027
大阪市都島区中野町 3-10-5 電話 6352-3258
・ JR 大阪環状線「桜ノ宮駅」下車南出口 南東へ 450m
・ 大阪メトロ谷町線「都島駅」下車 2 号出口 南へ 850m

3 時 程

13:30	13:50	14:35	15:00	16:45
受付	公開授業	移動休憩	講演	

4 募集定員 200 名

5 参加申込 申込期間 令和 7 年 8 月 1 日 (金) ~ 9 月 10 日 (水)
申込方法 SKIP 個人連絡で
申込先 大阪市立中野小学校 牧野まで

※必ず、事前に申し込みをしてください。

※大阪市学校園以外からの参加申し込み

【府特活からは別の案内が出ており、二次元コードでの申し込みになります。】

6 留意事項

※当日は、大阪府小中学校特別活動研究会 特別活動研修会を兼ねて開催いたします。

7 その他

講師に文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 和久井伸彦先生をお招きして、演題「みんなで、よりよい学級・学校をつくる特別活動」についてお話しいただきます。

「がんばる先生支援」研究支援

英語部講演会のご案内

令和7年8月1日
選定番号 211
大阪市立三先小学校
校長 禰宜田 陽子

研究テーマ

「英語を使って、主体的に考えや気持ちを伝えあおうとする
子どもの育成
～意欲を高める言語活動と学びの調整を一体として～」

1 日 時 令和7年9月17日（水） 15時30分～17時

（受付 15時から）

2 会 場 大阪市総合教育センター 10階

〒543-0054

大阪市天王寺区南河堀町4-88

JR天王寺駅から約700m

3. 講演会講師 関西外国語大学

教授 直山 木綿子

4. 演 題 「一人ひとりがいきいきと学ぶ英語教育をめざして

～個別最適な学びと協働的な学びの実現から～」

5. 申し込みについて QRコード又はURLから申し込んでください。

定員は先着100名とします。

6. 講師について

京都市立中学校教員、市教育委員会を経て文部科学省
教科調査官、2019年より同省視学官として、日本の初等・
中学校英語教育をけん引してこられました。2014年からは、
関西外国語大学教授として、先生を目指す学生の指導とともに、
日本全国で講演・指導を行っておられます。



令和7年度大阪市教育委員会「がんばる先生支援」

大阪市小学校教育研究会
英語部講演会

たくさんの
実践例

明日への
元気と見通し

一人ひとりがいきいきと学ぶ
英語教育をめざして

～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現から～

日時

9 / 17 水
15:30 ~ 17:00

会場

大阪市
総合教育センター

講師



関西外国語大学教授

直山 木綿子

京都市立中学校教員を経て市教育委員会に勤務。2009年文部科学省初等中等教育局教育課程課国際教育課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官。2019年同省初等中等教育局視学官。2024年より関西外国語大学英語キャリア学部教授。現在に至る。

お申し込み締め切り
9月5日（金）

お申し込みは
フォームから



「がんばる先生支援」研究支援
研究発表会・公開授業のご案内

令和7年8月1日
選定番号 243
大阪市立三国小学校
校長 仲田 弘伺

研究テーマ

「資質・能力ベースの算数授業の在り方」

1 日 時 令和7年9月22日（月） 13時50分～16時45分
(受付 13時30分から)

2 会 場 大阪市立三国小学校

〒532-0005

大阪市淀川区三国本町3-9-18 電話 6391-0146

・阪急宝塚線「三国駅」下車中央出口 北へ600m

・大阪メトロ御堂筋線「東三国駅」下車5号出口 西へ1.3km

3 時 程

13:30	13:50	14:35	14:55	15:25	16:45
受付	公開授業	準備	授業討議会	指導講評	

4 公開授業（3階 4年4組教室） 「4年 倍の見方」

授業者 三国小学校 校長 仲田 弘伺

3項関係を図と式でとらえていくことを通して、乗除の演算決定はもちろんのこと、小数倍や単位量あたりの大きさ、割合へと拡張できる力を育みたい。

5 指導講評（3階 学習室）

講師 NPO法人エデュネットワーク7°ラン代表理事 齊藤 一弥先生



6 募集定員 20名

7 参加申込 申込期間 令和7年8月1日（金）～ 9月12日（金）
申込方法 別紙参加申込書に名前・所属等を記入のうえ、FAXで送信

※公開授業当日、参加者にはアンケートのご協力をお願いします。

※必ず、事前に申し込みをしてください。

令和7年 月 日

FAX 送信票

大阪市立三国小学校

校長 仲田 弘伺 宛

(三国小学校 FAX 番号 06-6391-2936)

令和7年9月22日(月)公開授業 参加申込書

名 前	所 属	備 考
	学校	

9月12日(金)までにお申し込みください。

令和7年8月7日

各校園長様

選定番号130・217
田島南小中一貫校
大阪市立田島南小学校
大阪市立田島中学校
校長 今垣清彦

令和7年度 大阪市教育委員会「がんばる先生支援」グループ研究A・B 共催
文部科学省「学校等における生命(いのち)の安全教育推進事業」

公開授業・公開研修会のご案内(一次案内)

【がんばるA】過去・現在・未来を紡ぐ「生きる」教育

～Trauma Informed Education～

【がんばるB】5科における小中協働授業改善プロジェクト

～学力のボトムアップと若手育成をめざして～

本校は、令和4年度より小中一貫教育がスタートしました。2小1中が出会い、協働していく中で、小中が一緒に取り組む教育活動の1つが「生きる」教育です。平成28年度から紡ぎ始めた「生きる」教育のカリキュラムは、たくさんの授業者の想いを寄せ、今現在、9学年で14本となりました。この10年の間、現代の社会課題に即した多くの専門家の先生方に出会い、ご教授いただいた科学的なエビデンスを、授業の1つ1つに込めて参りました。統廃合を経て、中学校の専門性や探求心と、小学校の緻密な授業づくりの文化が融合し、どの実践も、主体的・対話的で社会性のある授業に成長しつつあります。

また、「生きる」教育の原点である「安全・安心」の保障を大きく支えるものを、「心も満たす」日々の教科指導とし、授業実践に精進してまいりました。学力(家庭背景なども含む)に課題を抱える児童に、まず勉強を好きになってほしいという願いが研究の柱となっていました。一貫校となり、「進路」という新しい概念に、よりシビアに向き合う研究活動へと移行しているところです。

令和6年度から、上記(B)主題で新しい取り組みをスタートさせ、小学校では研究教科を国語科から社会科に移し、他3科についても中学校と協働しながら、検討を重ね、授業改善に取り組んでいるところです。本年度は、このような「生きる」教育の土台部分となる「授業づくり」や「学校行事」にもスポットをあて、ご提案させていただきたく存じます。

つきましては、がんばる(A)(B)の公開授業・講演会を、同時開催とさせていただき、ご参会のみな様と一緒に、「公教育の可能性」を福祉資源の1つという視点から見出していけたらと願っております。公務何かとお忙しいとは存じますが、貴校教職員のみな様にご周知いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和7年9月26日(金) 13時40分～17時 (受付 13時00分～)
令和7年9月27日(土) 9時00分～12時30分 (受付 8時30分～)
- 2 会場 田島南小中一貫校(大阪市立田島南小学校・大阪市立田島中学校)
〒544-0011 大阪市生野区田島5-23-7 電話 06-6758-1541

3 内容

9月26日(金)5時間目 がんばる(A)

13:00～ 受付開始

13:40～ 5～9年生「生きる」教育公開授業

14:40～ オープニング

14:45～ 授業提案

田島南小学校指導教諭 小野 太恵子

15:00～ 講演会

【生徒指導】 兵庫県立大学環境人間学部

教授 竹内 和雄氏

【臨床心理】 山梨県立大学大学院人間福祉学研究所 特任教授 西澤 哲 氏

9月27日(土)1・2時間目 がんばる(A)(B)

8:30～ 受付開始

9:00～ 1～4年生「生きる」教育公開授業

5・6年生 社会科・理科・英語科公開授業 (国語科・算数科は誌上発表)

10:00～ オープニング

10:05～ 研究提案

田島南小学校指導教諭 小野 太恵子

10:30～ 講演会

【授業づくり】 京都大学大学院教育学研究科

准教授 石井 英真氏

【総 評】 京都大学大学院教育学研究科

教授 西岡 加名恵氏

4. 公開授業詳細

がんばるA

9月26日(金) 「生きる」教育

学年組	授業内容	授業者
5年1組	【パートナーシップ(3時)】 これは愛?それとも支配?	上田 恵
5年2組	【パートナーシップ(1時)】 学ぼう LGBTQ	角谷 拓磨
6年1組	【家庭について考えよう(5時)】 心の傷の治療法	新矢 琢磨
6年2組	【家庭について考えよう(4時)】 人生に必要な「お金」の話	高橋 七星
7年1組	「脳と心と体とわたし～思春期のトラウマとアタッチメント～」	石田 祥子/上田 ひまわり
7年2組	「脳と心と体とわたし～思春期のトラウマとアタッチメント～」	倉 匠 / 田中 梓
8年1組	「リアルデートDV ～支配と依存のメカニズム～」	十倉 雄介
8年2組	「SNS 誹謗中傷 ～思春期における情報モラル教育～」	池永 大祐
9年1組	「社会の中の親と子 ～子ども虐待の事例から～」	檜崎 祐也 / 紙原 大輔
9年2組	「社会における子どもの権利」	梅原 郷花 / 別所 美佐子

9月27日(土) 「生きる」教育

学年組	授業内容	授業者
1年1組	【大切なことと体(1時)】 プライベートゾーン	谷本 涼輔
1年2組	【大切なことと体(2時)】 たいせつなぼく・わたし	和木 龍太郎
1年3組	【大切なことと体(2時)】 たいせつなぼく・わたし	下碓 美来
2年1組	【みんなむかしは赤ちゃんだった(3時)】 赤ちゃんのふしぎ	藤原 匠
2年2組	【みんなむかしは赤ちゃんだった(2時)】 赤ちゃんを学ぼう	澤井 寛実 / 別所 美佐子
3年1組	【子どもの権利条約(8時)】 こちらお悩み相談室	堀江 実結
3年2組	【子どもの権利条約(6時)】 大切な権利ランキング	村田 一夏
3年3組	【子どもの権利条約(7時)】 守られていない権利は?	程岡 陸斗
4年1組	【LSW 10歳のハローワーク(3時)】 ほしいカオークション	山田 果奈
4年2組	【スマホについて考えよう(トピック)】 みんなで考えるオンラインルール	吉井 真奈
4年3組	【LSW 10歳のハローワーク(トピック)】 考えようみんなの凸凹	宮川 征大 / 松尾 秋斗

※ 中学校は外部講師による生きる教育にかかわる授業をしています。

7年:助産師による性教育「思春期の体と心について」講師:助産師 市村 真希(90分)
8年:通常授業(90分)
9年:赤ちゃん先生 講師:NPO 法人 ママの働き方ネットワーク (各クラス50分)

がんばるB

9月27日(土) 小学校教科研究

学年組	授業内容	授業者
5年1組	【社会科】「これからの食料生産とわたしたち」	小野 太恵子
6年1組	【理科】「水溶液の性質」	宮木 寛史
6年2組	【外国語】「I want to go to Italy」	吉田 拓弥
誌上发表	【国語科】主体的に読み、書き、話し合うための教材開発	田島南小学校研究部
	【算数科】知識・技能の定着と思考する時間を個別に保障する指導計画	

5. 申し込み方法

定員は200名(申し込み順)になります。参加日(9月26日・27日・両日)、参加者名・所属名・連絡先などを、QRコードを読み取るか、Microsoft Formsからお申込みください【締め切り 9月19日(金)】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfX6MD70IfKpqsS8yMSK7GFtTH6-nlC3iP_qe_bHwLMbCGtdg/viewform?usp=preview



6. ご不明な点につきましては、田島南小中一貫校までお問合せください。

田島南小学校教務主任 菊井 威
田島中学校 養護教諭 田中 梓

学校代表メールアドレス s1514@education.city.osaka.jp

【講師紹介】

兵庫県立大学 環境人間学部 教授 ^{たけうち かずお} 竹内 和雄 氏



公立中学校で 20 年間、生徒指導主事等を担当。寝屋川市教委指導主事を経て 2012 年に兵庫県立大学環境人間学部に着任し現在は環境人間学部教授。

生徒指導を専門とし、ネット問題、いじめ、不登校等、課題を持つ子どもへの対応方法について研究している。また令和 4 年に改訂された生徒指導要領にも関わられている。文科省学校ネットパトロール調査研究協力者、総務省青少年インターネット WG 構成員、総務省(近畿総合通信局)「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する連絡会」座長。著書として『スマートフォン時代に対応する生徒指導・教育相談』ほんの森出版 2014.07、「教育相談の現場:スマホのいじめ」『絶対役立つ教育相談:学校現場の今に向き合う』ミネルヴァ書房、

生野南小学校 教育実践シリーズ『『生きる』教育』全シリーズ(日本標準)ではデートDVの監修を行っている。令和 7 年度に総務省の「令和 7 年度『情報通信月間』総務大臣表彰」を受賞。

山梨県立大学 大学院人間福祉学研究科 特任教授 ^{にしざわ さとる} 西澤 哲 氏



兵庫県神戸市出身。大阪大学人間科学部行動学専攻課程を卒業。1988 年サンフランシスコ州立大学修士課程修了。1981 年情緒障害児短期治療施設心理療法士、1989 年大阪府環境保健部心理技師などを経て、2000 年大阪大学人間科学研究科助教授、2007 年に山梨県立大学教授として着任。2025 年現在は山梨県立大学 大学院人間福祉学研究科 特任教授。

人間福祉学研究科は虐待対応に特化した人材育成を行う大学院としては全国初の試みである。虐待などでトラウマを受けた子どもの心理臨床活動を行っており、『『生きる』教育』実践において開発時から指導助言をしてもらっている。著書は『子どもの虐待 子どもと家族への治療的アプローチ』誠信書房 1994、『子どものトラウマ』1997 講談社現代新書、『トラウマの臨床心理学』金剛出版 1999、『子ども虐待』2010 (講談社現代新書)、生野南小学校 教育実践シリーズ『『生きる』教育』全シリーズ(日本標準)である。

いし い てるまさ
京都大学 大学院教育学研究科 准教授 石井 英真 氏



専門は教育方法学(学力研究)。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(教育学)。日本学術振興会特別研究員(PD)、京都大学大学院教育学研究科 助教、神戸松蔭女子学院大学専任講師を経て、2012年4月より現職。文部科学省初等中等教育局「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会委員。

日米のカリキュラム研究、授業研究の蓄積に学びながら、学校で育成すべき資質・能力を構造化・モデル化し、それらを実質的に実現しうるカリキュラム、授業、評価、教師教育をトータルにどうデザインするかを研究。主な著書に、「増補版・現代アメリカにおける学力形成論の展開」(単著・東信堂)、「今求められる学力と学びとは—コンピ

テンシー・ベースのカリキュラムの光と影」(単著・日本標準)、「授業づくりの深め方」(単著・ミネルヴァ書房)、「教育『変革』の時代の羅針盤『教育DX×個別最適な学び』の光と影」(単著・教育出版)などがある。

にしおか かなえ
京都大学 大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 氏



専門は教育方法学(カリキュラム論、教育評価論)。京都大学大学院教育学研究科修士課程修了後、英国バーミンガム大学にて Ph.D.(Ed.)を取得。鳴門教育大学講師等を経て、2017年4月より同教授。日本教育方法学会常任理事、日本カリキュラム学会理事、教育目標・評価学会理事。文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員(2012年~2014年)なども務める。主な著書に、単著『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』(図書文化、2003年)、単著『教科と総合学習のカリキュラム設計』(図書文化、2016年)、編著『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』(明治図書、2016年)、共編著『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価』(日本標準、2019年)、共編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』(日本標準、2020年)などがある。2022年10月 『『生きる』教育』第一巻 自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ【生野南小学校教育実践シリーズ】(日本標準)』発刊。現在4巻まで発刊されている。

2022年10月 『『生きる』教育』第一巻 自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ【生野南小学校教育実践シリーズ】(日本標準)』発刊。現在4巻まで発刊されている。

令和7年8月1日

各 位

選定番号 109
大阪市立南市岡小学校
校長 木村 幹彦

令和7年度 大阪市教育委員会「がんばる先生支援」グループ研究A
公開授業研修会・講演会のご案内

**思いや考えを豊かに表現し、相互に理解を深め合う児童の育成
～自ら考え、自ら学ぶための国語力と豊かに生きるための実践力を育てる指導～**

令和7年度本校では、上記のテーマを掲げ大阪市教育委員会の研究支援事業「がんばる先生支援」の選定を受け、「明るく前向きに他者と関わる力を育てる国語科読解指導の研究」や「学校図書館教育」、「心と体を豊かに育む南市岡小学校版『生きる』教育」の研究に取り組んでいます。

この度、下記要領で公開授業研修会・講演会を行いますので多くの方々にご参加いただけますようご案内させていただきます。

学校図書館教育において

**「子どもの『個別最適な学び』と
『協働的な学び』に役立つ学校図書館運営の実践」**

記

1. 日 時 令和7年10月8日(水) 13時45分～17時00分(受付13時15分～)
2. 会 場 大阪市立南市岡小学校 図書館・講堂 (大阪市港区南市岡2-6-35)
3. 公開授業 4年1組 国語 「くらしの中の和と洋」 授業者 中林 真理子
4. 実践報告 //
5. 指導助言 元 大阪市立清水丘小学校長 田村 泰宏
6. パネル・ディスカッション

大阪市の子どもたちの学力育成と図書館教育

— 学校図書館活用から公共図書館との『連携・協働』へ —

- 中林 真理子 (大阪市立南市岡小学校教諭 研究部長)
 - ・南市岡小学校の図書館教育のテーマと概要
 - ・主幹学校司書との協働の様子 ・効果 今後の課題と方策
- 宮澤 優子 (伊勢市教育委員会 教育メディア課 子ども読書活性化担当 主幹)
 - ・これからの学力育成を前提に考えた時の理想の図書館とその活動について
 - ・現実とのギャップ ・今後の課題と方策
- 石田 智子 (大阪市教育委員会 市立中央図書館長)
 - ・大阪市立図書館が進める子ども読書への支援(学校支援以外の取り組みも)
 - ・大阪市の図書館施策について ・今後の課題と方策

7. 講演

学校図書館活用の極意とその実現のための極意

講師 伊勢市教育委員会教育メディア課 子ども読書活性化担当 主幹 宮澤 優子

8. 時 程

13:15 13:45 14:30 14:40 14:55 15:05 15:30 15:35 16:40 17:00

受付	公開授業	休憩	授業者 実践報告	指導 助言	パネル・ディス カッション	休憩	講演	質疑 応答
----	------	----	-------------	----------	------------------	----	----	----------

9. その他

大阪市小学校教育研究会 学校図書館部より

本研修会・講演会が、学校図書館の企画・運営、活用意義などの研修として役立てることができると考えています。学校図書館主任他の研修参加を推奨させていただきます。

学校図書館部 部長 林 幸男（菅北小学校校長）

10. 申し込み方法

- ・二次元コードから申し込んでください。
- ・定員は150名（申し込み順）になります。
- ・大阪市立学校園以外からの参加も歓迎します。
- ・10月3日（金）までにお申し込みください。
- ・「がんばる先生支援」に選定されますと、大阪市「中堅教員研修（選択）」を兼ねます。
- ・申し込みの取り消しは、「申し込み取り消し」にチェックして再送信してください。

『学校図書館』活用 公開授業・講演会
2025年10月8日 申し込み



講演

「学校図書館活用の極意と その実現のための極意」

講師 伊勢市教育委員会 教育メディア課
子ども読書活性化担当
主幹 宮澤 優子 氏



講師プロフィール

一昨年度まで、長野県下伊那郡高森町立高森北小学校と、高森町子ども読書支援センターの司書を兼務。町内の図書館的資源「物」「人」「場」を公共図書館と学校 図書館が最大限利用し協働することで、町内の子どもたちの読書を継続的包括的に支援する取り組みを進めていた。GIGA スクール構想に伴い学校図書館を情報センターとしてレベルアップさせるため Google 認定教育者 Lev.1、Lev.2 を取得。

昨年度より三重県伊勢市教育委員会へ。今年度は教育メディア課 子ども読書活性化担当 主幹として活躍。これまで文部科学省委託事業での講義をはじめ、全国各地で講演。大阪府立中央図書館・大阪市立中央図書館で研修会講師も務められた。

昨年度、本校において「子どもの探究が確実に変わる、GIGA スクール時代の『学校図書館』活用の極意」のテーマでご講演いただいた。

令和7年度「がんばる先生支援」研究支援（選定番号110）

本田小学校 公開授業研究発表会のご案内

一次案内

お互いを認め合える本田っ子
～「学習の個性化」を支える授業デザイン～（二年度）

1 日 時 **令和7年10月31日（金）**
14時00分～17時00分
（受付13時45分より）

2 会 場 **大阪市立本田小学校**
〒550-0021 大阪市西区川口1-5-19
電話 6581-1531 大阪メトロ中央線「阿波座駅」徒歩10分

3 時 程

13:45～	14:00 ～14:45		14:55～ 15:45		15:50	16:00 ～17:00
受付	<u>公開授業</u>	休憩	協議会	休憩	全体発表	<u>講演会</u>

【公開予定授業】

（今年度は8本の授業を公開！）

3年 道徳・総合
4年 体育・国語
5年 算数・国語
6年 理科・社会

※授業内容・授業者は2次案内に記載します。
協議会は参観した授業の会にご参加ください。

演題

「次期学習指導要領に向けて
～今わたしたちが考えること～（仮）」

京都大学大学院教育学研究科

石井 英真 准教授

【講師紹介】

専門は教育方法学。学校で育成すべき資質・能力の中身を構造化・モデル化し、研究授業を核にした学校改革に取り組んでいる。

「今求められる学力と学びとは」（日本標準）「授業づくりの深め方」（ミネルヴァ書房）「教育『変革』の時代の羅針盤」（教育出版）など著作は多数。

4 募集定員 **150名**

5 参加申込 申込期間 令和7年8月1日（金）～10月30日（木）
申込方法 別紙に記載の二次元コードにてお申込みください。

令和7年度 「がんばる先生支援」研究支援(選定番号 110)

10月31日 本田小学校 公開授業研究発表会

【 講師：石井 英真 准教授 】

参加申込

下記の二次元コードにてお申込みください。なお授業の教材・単元名などは9月ごろにお知らせします。二次案内もしくは以下のサイト内をご確認ください。



お願い

- ・参加者確認のため、申し込みの際はお名前、所属されている学校などを正しくご記入ください。
- ・連絡のつくアドレスをご登録ください。連絡事項がある場合には登録されたアドレスに送ります。